

平成 15 年 2 月 27 日

各 位

(財)日本野鳥の会  
自然保護室 金井裕

#### 公開シンポジウム

「日本の渡り性水鳥の保全 - アジア太平洋地域渡り性水鳥保全戦略への日本の  
取り組み」のご案内

日本に渡来する水鳥の保全に関するシンポジウムが、同封のご案内のとおり  
開催されますのでお知らせ申し上げます。

日本は、アジア・太平洋地域の渡り鳥にとって重要な生息地となっています。  
この地域を渡る水鳥たちの保全を進めるため、日本とオーストラリアが中心に  
なり、「アジア太平洋地域渡り性水鳥保全戦略 1996-2000」が取りまとめられ、  
同時に、戦略実施のための監督機関として、関係国政府や国際機関等が参加す  
るアジア太平洋地域渡り性水鳥保全委員会 (MWCC) が設置されました。戦略  
のもとでの取組みとして、1996 年には東アジアオーストラリア地域シギ・チド  
リ類重要生息地ネットワークが、翌年 1997 年には北東アジア地域ツル類重要  
生息地ネットワーク、1999 年には東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワ  
ークが発足し、各国で活発に保全活動が展開されています。

今般、2000 年にまとめられた「アジア太平洋地域渡り性水鳥保全戦略 2001-  
2005」に基づく取組みの一環として、日本国内での実施計画が作成されつつあ  
ります。そこで、本シンポジウムでは、各生息地ネットワークから、国内外で  
の活動状況や各参加地での生き物たちの様子を紹介しながら、国内実施計画の  
概要について報告するとともに、わが国における渡り鳥生息地保全の取組みの  
未来について、意見交換を行いたいと考えています。渡り鳥や水鳥に興味関心  
のある方は是非ご参加ください。参加は自由です。

シンポジウム「日本における渡り性水鳥の保全」  
- アジア太平洋地域渡り性水鳥保全戦略への日本の取り組み -

主催： 環境省  
共催： (財)日本野鳥の会  
後援(予定): 日本雁を保護する会、WWFジャパン、阿寒国際センター、(財)中海水鳥国際交流基金財団、日本ツル・コウノトリネットワーク

日時：平成15年3月26日(水) 14:00~16:30  
場所：国立オリンピック記念青少年総合センター セー501号室  
東京都渋谷区代々木神園町3番1号(小田急線参宮橋駅下車徒歩7分)  
<http://www.nyc.go.jp>

プログラム：

- 14:00-14:20 主催者挨拶  
アジア太平洋地域渡り性水鳥保全戦略の概要について  
中島尚子(環境省自然環境局野生生物課)
- 14:20-14:50 シバ・チドリ類ネットワーク活動報告 前川 聡(WWFジャパン)  
14:50-15:20 ツル類ネットワーク活動報告 松本文雄(阿寒国際センター)  
15:20-15:50 ガンガ類ネットワーク活動報告 神谷 要(中海水鳥国際交流基金財団)
- 15:50-16:30 討論会：水鳥ネットワークの未来  
議事進行 金井 裕(日本野鳥の会)  
中島尚子(環境省自然環境局野生生物課)  
前川 聡(WWFジャパン)  
シバ・チン(日本野鳥の会)  
松本文雄(阿寒国際センター)  
呉地正行(日本雁を保護する会)  
宮林泰彦(日本雁を保護する会)  
神谷 要(中海水鳥国際交流基金財団)
- 16:30 閉会

参加費：無料。

問い合わせ先：日本野鳥の会自然保護室(古川、成末)

電話： 042-593-6871

ファクス： 042-593-6873

e-mail： [furukawa@wing-wbsj.or.jp](mailto:furukawa@wing-wbsj.or.jp)

[narusue@wing-wbsj.or.jp](mailto:narusue@wing-wbsj.or.jp)

アジア太平洋地域渡り性水鳥保全戦略およびフライウェイネットワークの詳細については、環境省のインターネット自然研究所のホームページでご覧になれます。

URL：<http://www.sizenken.biodic.go.jp/flyway/>